

令和5年度 運営会議

目 次

| | | |
|----|------------------|----|
| I | 令和4年度決算及び令和5年度予算 | 1 |
| II | 課題と取組 | |
| 1 | 高速道路ネットワークの強化 | 9 |
| 2 | 構造物の維持管理及び耐震対策 | 16 |
| 3 | 災害対応力の強化 | 21 |
| 4 | 事故・渋滞対策 | 22 |
| 5 | お客様サービスの推進 | 25 |



令和5年5月25日

福岡北九州高速道路公社

I 令和4年度決算及び令和5年度予算

(1) 令和4年度決算

決算見込

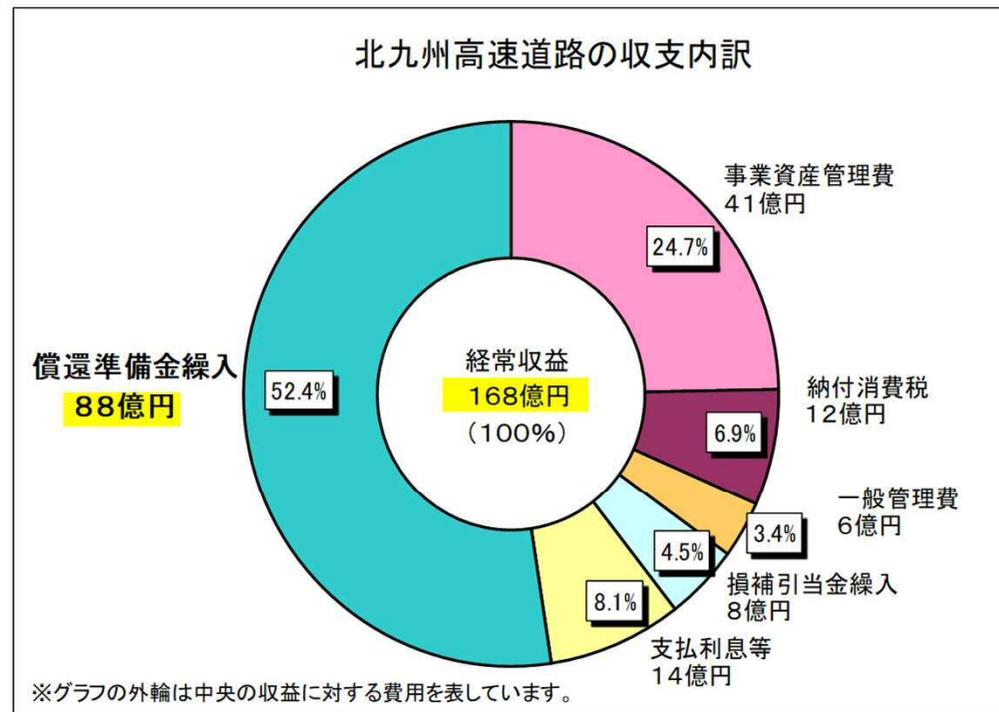
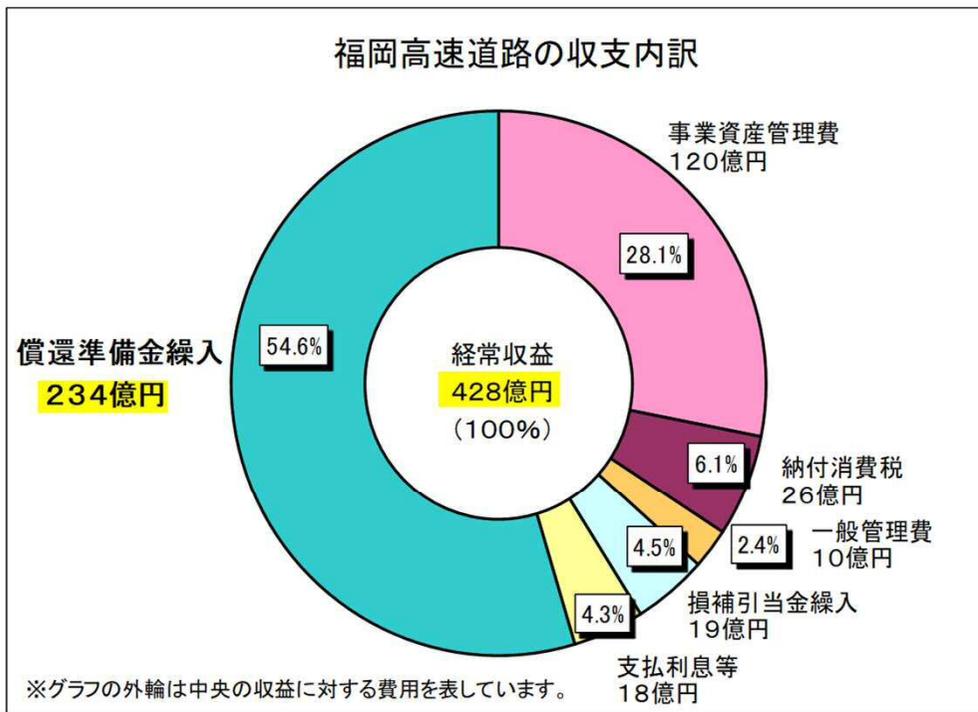
① 損益の概要

< 福岡高速 >

令和4事業年度の福岡高速道路部門の損益は、
 経常収益 **428億円** に対し、経常費用 **194億円**、
 差引き収支差は **234億円** となり、
 これを償還準備金繰入として計上します。

< 北九州高速 >

令和4事業年度の北九州高速道路部門の損益は、
 経常収益 **168億円** に対し、経常費用 **80億円**、
 差引き収支差は **88億円** となり、
 これを償還準備金繰入として計上します。



※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

I 令和4年度決算及び令和5年度予算

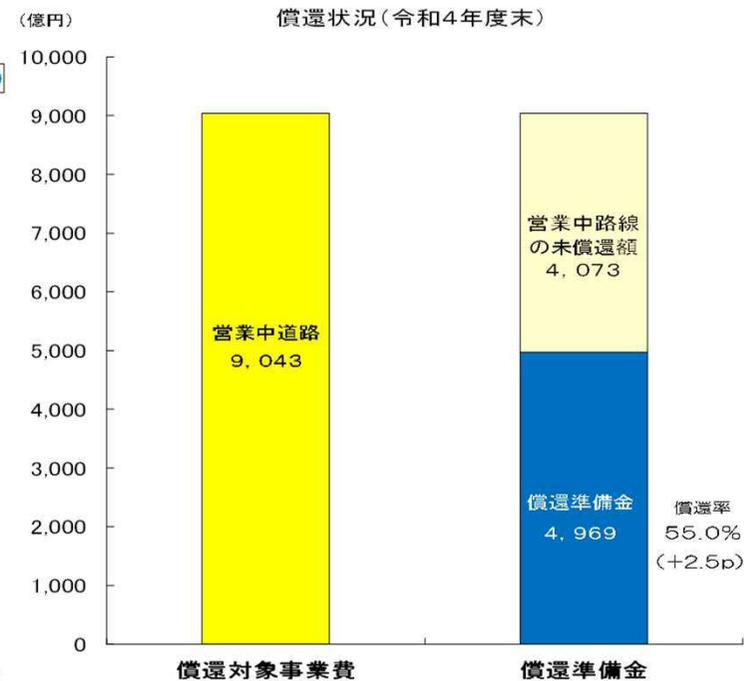
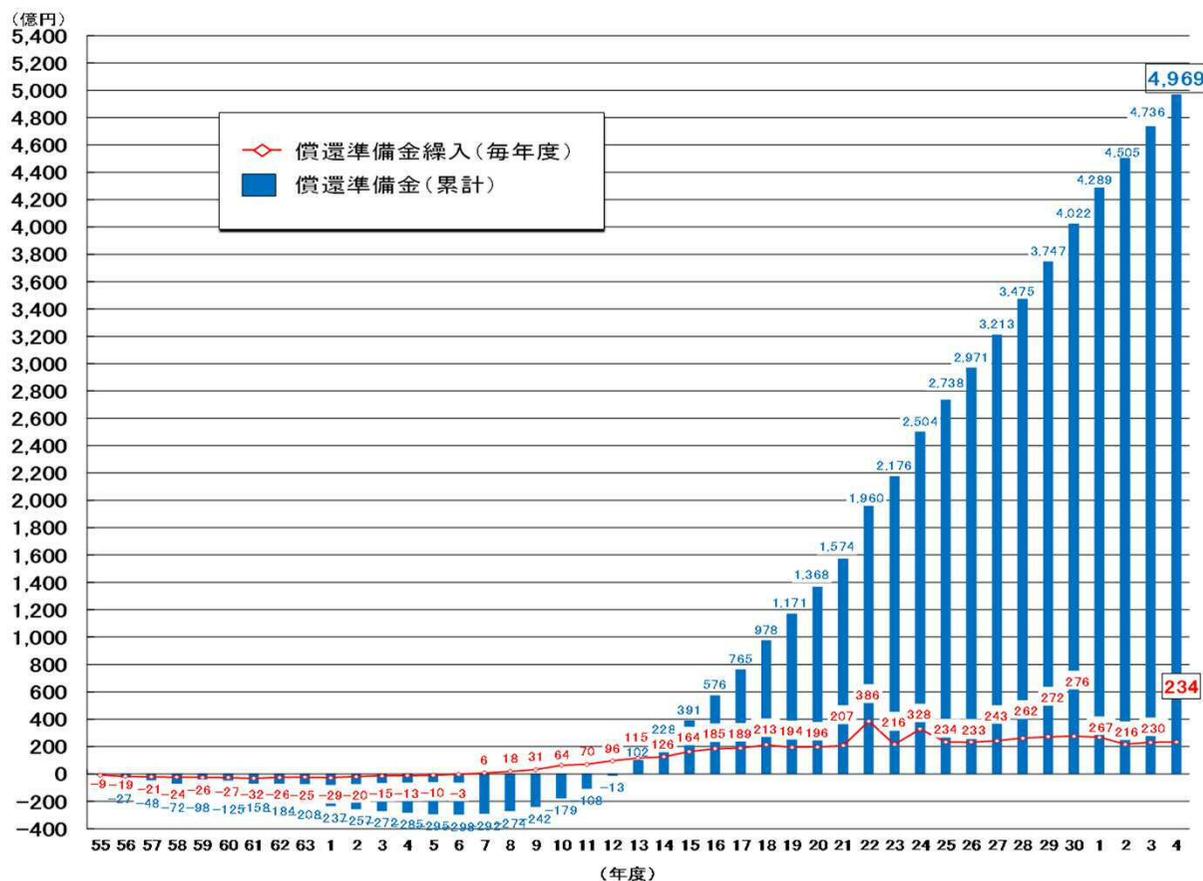
(1) 令和4年度決算

② 償還準備金の推移と償還状況

<福岡高速>

決算見込

令和4年度の償還準備金繰入は、234億円で、年度末の償還準備金の累計は4,969億円です。償還率は55.0%で前年度比2.5ポイント増加しています。



(単位: 億円)

| 営業中道路の資産総額 | 資産見返交付金 | 営業中道路(償還対象額) | 償還準備金 | 未償還残高 |
|------------|---------|--------------|-------|---------|
| A | B | C=(A-B) | D | E=(C-D) |
| 9,066 | 23 | 9,043 | 4,969 | 4,073 |

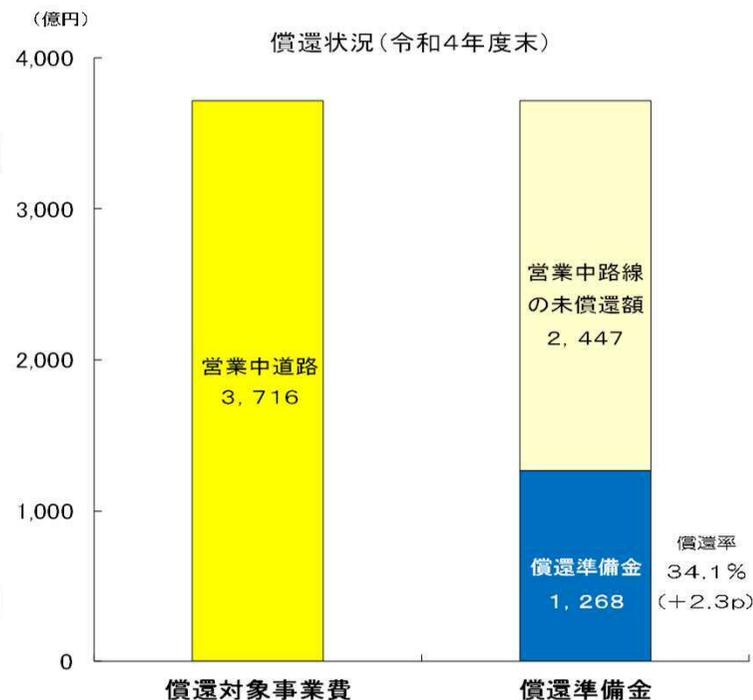
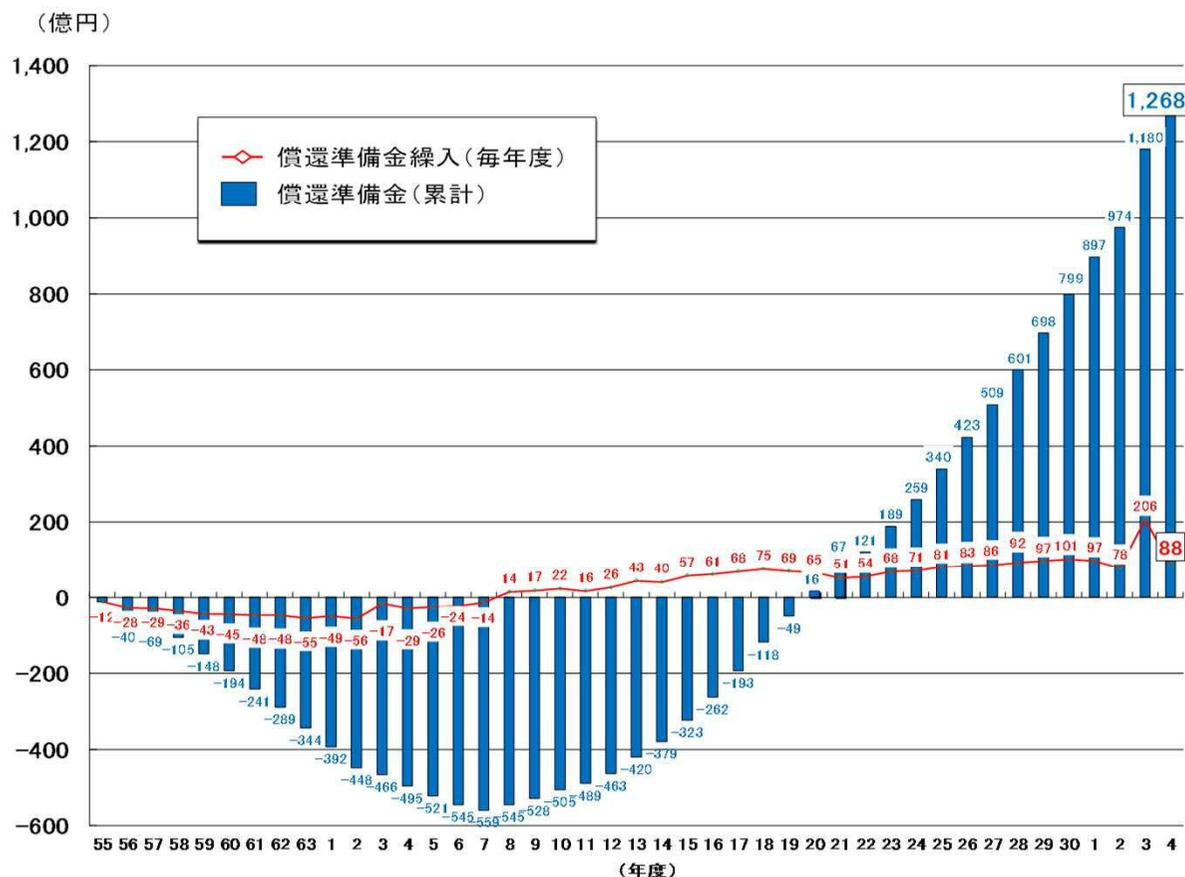
※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(1) 令和4年度決算

② 償還準備金の推移と償還状況 ＜北九州高速＞

決算見込

令和4年度の償還準備金繰入は、88億円で、年度末の償還準備金の累計は1,268億円です。償還率は34.1%で前年度比2.3ポイント増加しています。



(単位: 億円)

| 営業中道路の資産総額 | 資産見返交付金 | 営業中道路 (償還対象額) | 償還準備金 | 未償還残高 |
|------------|---------|---------------|-------|---------|
| A | B | C=(A-B) | D | E=(C-D) |
| 3,761 | 46 | 3,716 | 1,268 | 2,447 |

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(2) 令和5年度予算

① 事業実施計画

○建設事業

福岡高速において、令和3年度から事業着手した福岡高速3号線(空港線)延伸事業を、引き続き、実施します。また、北九州高速においては、令和5年度から北九州高速5号線延伸(戸畑枝光線)事業及び耐震補強事業を実施します。

○管理事業

「安全で快適な都市高速」確保のため、福岡高速における老朽化・予防保全対策、北九州高速における大規模修繕など、引き続き、営業中道路(福岡高速59.3km、北九州高速49.5km)の適正な維持管理に努めてまいります。

② 収入支出予算

(単位:億円)

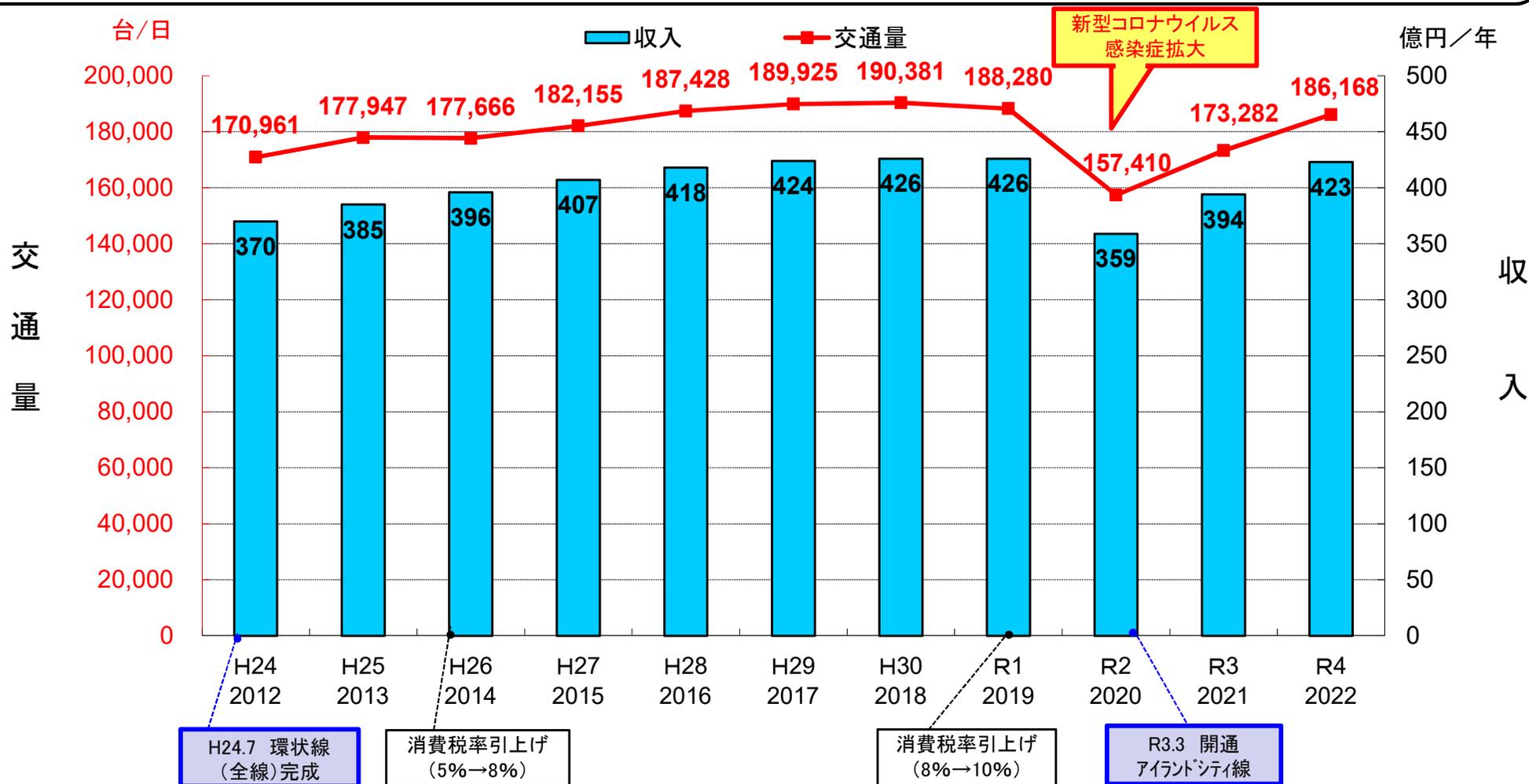
| 事業区分 | 収入 | | | 支出 | | | | |
|------|----------|------|-------|-----|-----------|-------|-------|-------|
| | 項目 | 福岡高速 | 北九州高速 | 計 | 項目 | 福岡高速 | 北九州高速 | 計 |
| 建設事業 | 設立団体出資金 | 7 | 4 | 11 | 高速道路建設費 | 41 | 19 | 59 |
| | 政府無利子貸付金 | 11 | 7 | 18 | 高速道路改築費 | 0 | 8 | 8 |
| | 特別転貸債 | 16 | 10 | 26 | 一般管理費 | 4 | 1 | 5 |
| | 民間借入金 | 11 | 7 | 18 | 建設利息 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 45 | 28 | 73 | 小計 | 45 | 28 | 73 |
| 管理事業 | 高速道路料金収入 | 403 | 158 | 561 | 維持改良費 | 154 | 64 | 218 |
| | 駐車場料金収入 | 1 | 1 | 2 | 業務管理費 | 66 | 33 | 100 |
| | 原因者負担金受入 | 1 | 1 | 1 | (内 納付消費税) | (28) | (9) | (36) |
| | 民間借入金 | 80 | 54 | 134 | 原因者負担補修費 | 1 | 1 | 1 |
| | 業務外収入 | 1 | 1 | 1 | 一般管理費 | 11 | 6 | 17 |
| | | | | | 業務外支出 | 253 | 111 | 364 |
| | | | | | (内 元金償還金) | (236) | (99) | (335) |
| | | | | | (内 支払利息等) | (17) | (12) | (29) |
| 小計 | 486 | 214 | 699 | 小計 | 486 | 214 | 699 | |
| その他 | 受託業務収入等 | 11 | 1 | 12 | 受託業務費等 | 11 | 1 | 12 |
| 合計 | | 542 | 243 | 785 | | 542 | 243 | 785 |

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(3) 交通量と収入の推移

① 福岡高速

令和4年度は、交通量は前年度比7.4%増(令和元年度比1.1%減)、収入は前年度比7.4%増(令和元年度比0.4%減)となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復しつつあります。(※増減率は日平均による比較)

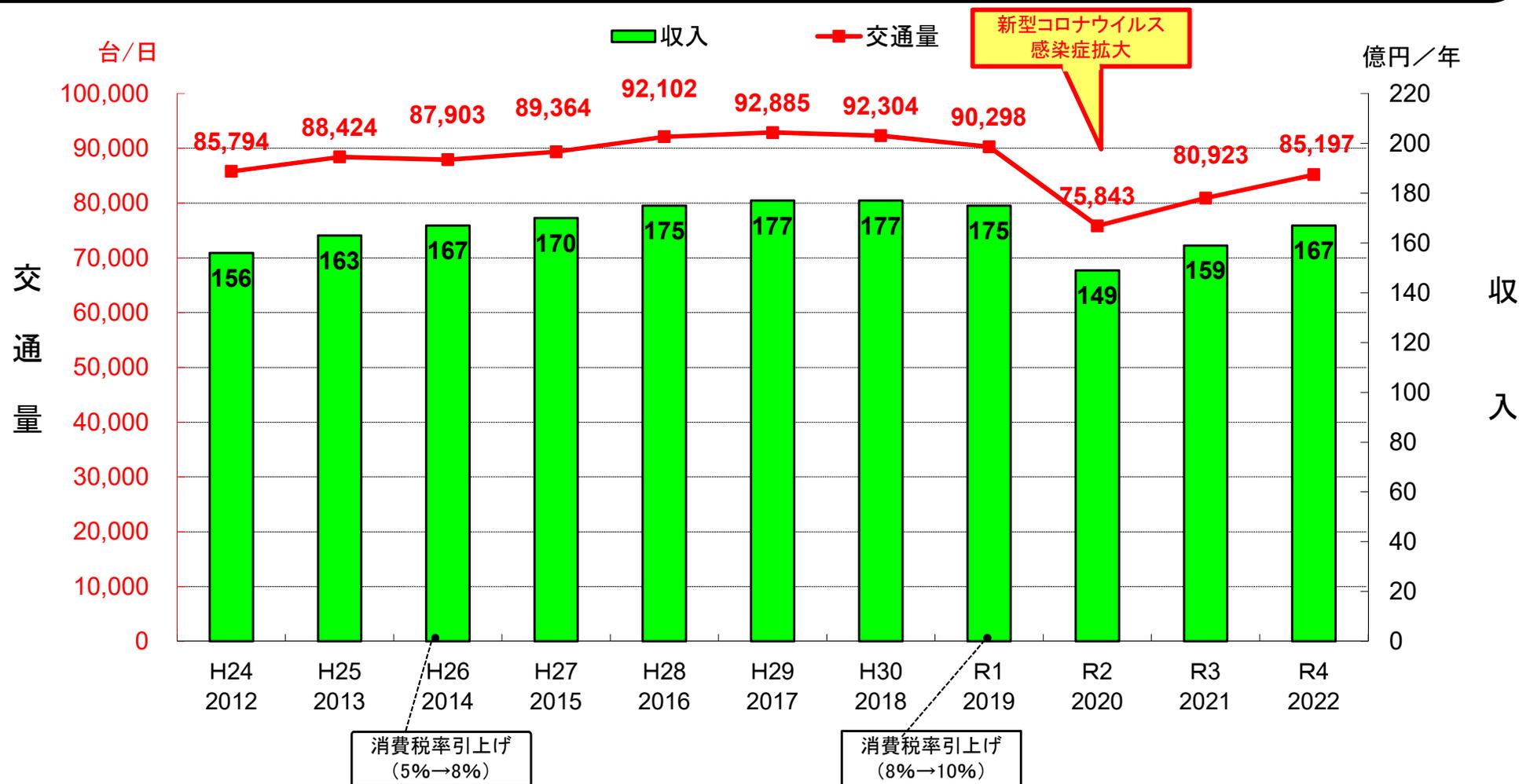


注) 料金収入のみを計上しています(駐車場収入を除く)

(3) 交通量と収入の推移

②北九州高速

令和4年度は、交通量は前年度比5.3%増(令和元年度比5.6%減)、収入は前年度比5.0%増(令和元年度比4.4%減)となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復しつつあります。(※増減率は日平均による比較)

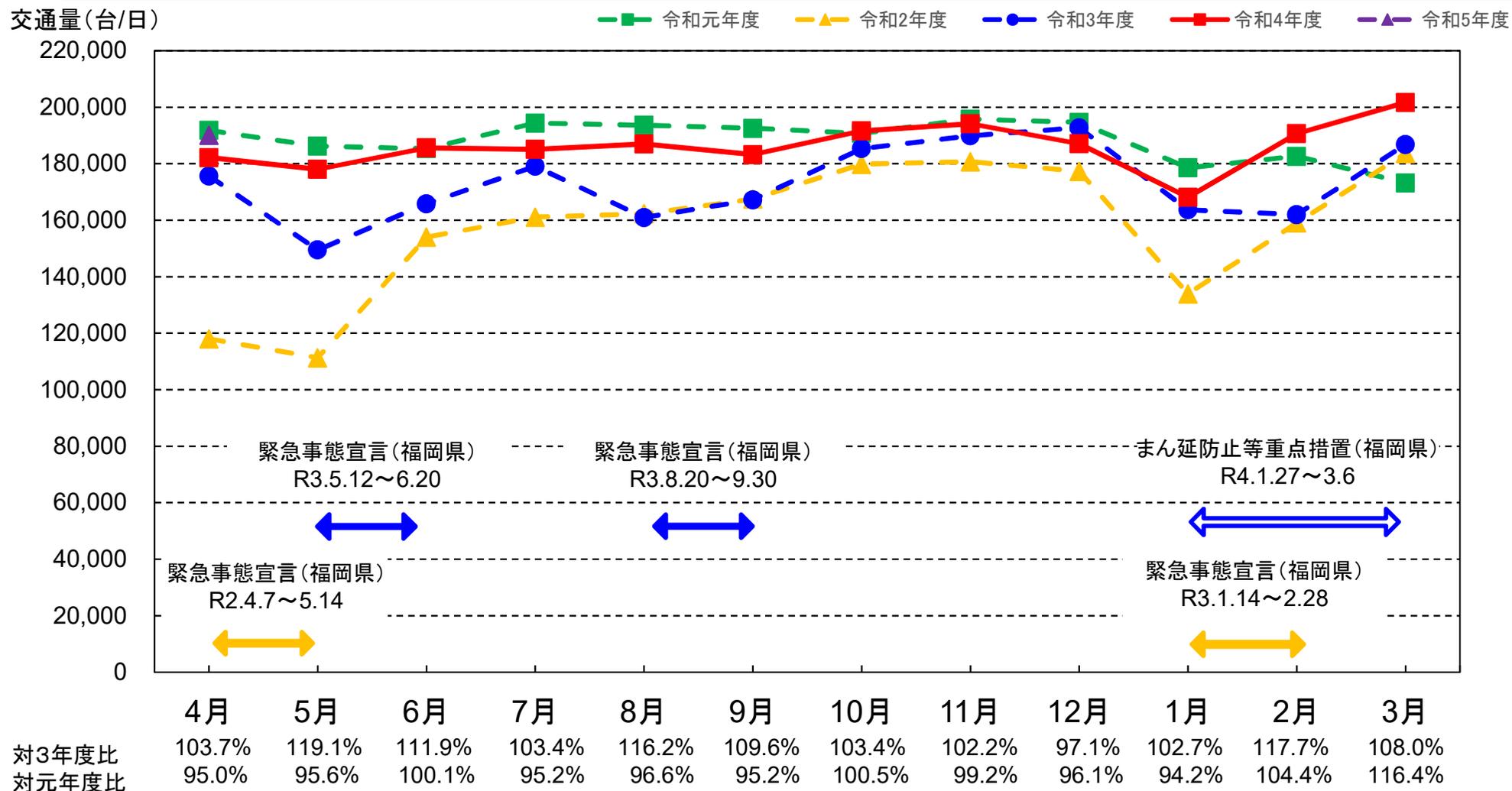


注)料金収入のみを計上しています(駐車場収入を除く)

(参考)最近の交通量の状況

①福岡高速

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令された期間に大きく交通量が減少しています。

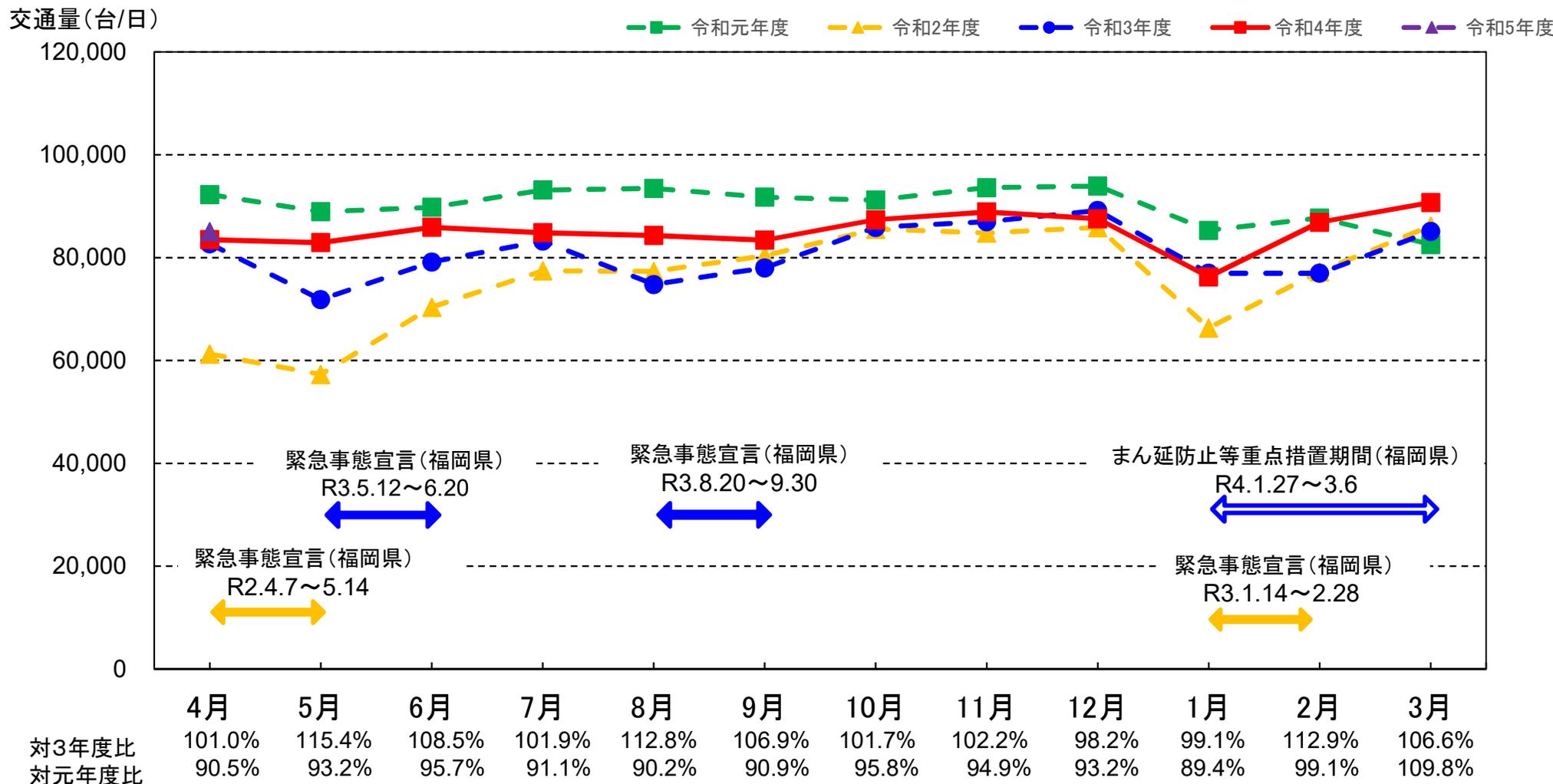


※令和5年4月は速報値

(参考) 最近の交通量の状況

②北九州高速

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発令された期間に大きく交通量が減少しています。



※令和5年4月は速報値

Ⅱ 課題と取組

(1) 福岡高速3号線(空港線)延伸

① 目的

福岡空港の滑走路増設などの機能強化が進められている中、福岡市南部地域や太宰府IC方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス強化と、空港口交差点をはじめとする福岡空港周辺道路の混雑緩和を図ります。

② 計画図



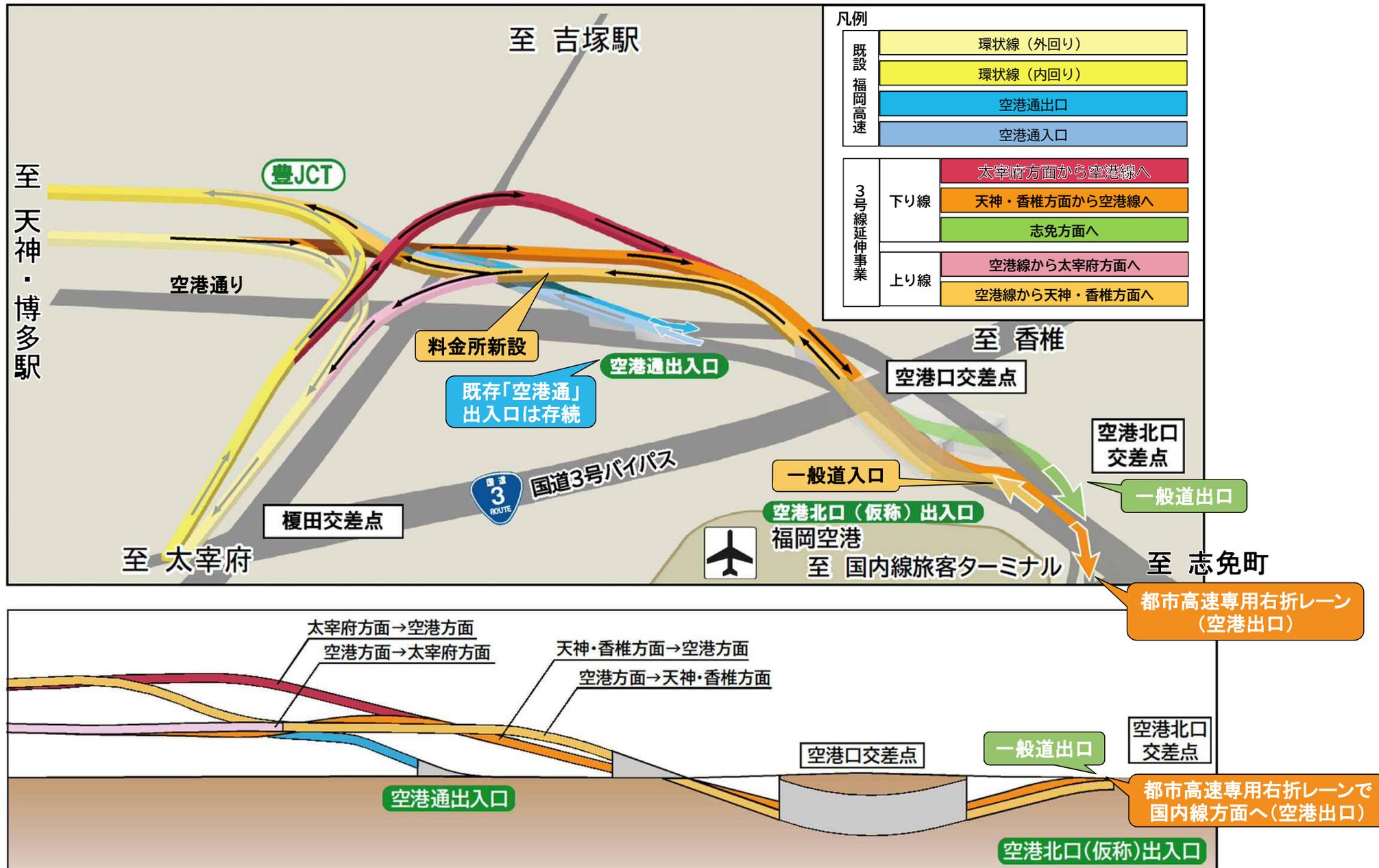
▲位置図



▲計画平面図

(1) 福岡高速3号線(空港線)延伸

③ 事業ルートイメージ



1 高速道路ネットワークの強化

(1) 福岡高速3号線(空港線)延伸

④ イメージパース(天神・博多駅方面から空港方面)



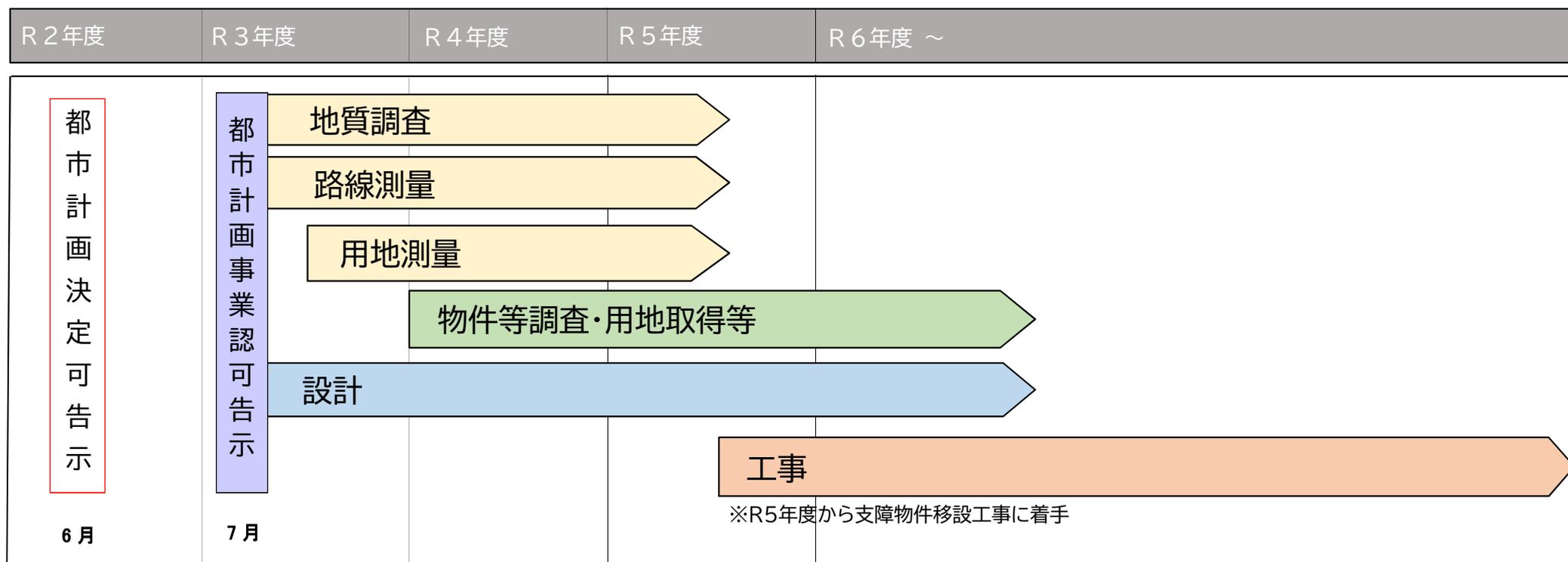
本線部 L=1.4km



(1) 福岡高速3号線(空港線)延伸

⑤ スケジュール

令和5年度は、令和4年度に引き続き、調査・測量・設計等を進め、地権者と協議が整った箇所から物件調査・用地取得を行うとともに、空港線の本体工事に向けた、支障物件移設工事にも着手してまいります。



※事業期間は概ね10年間を予定

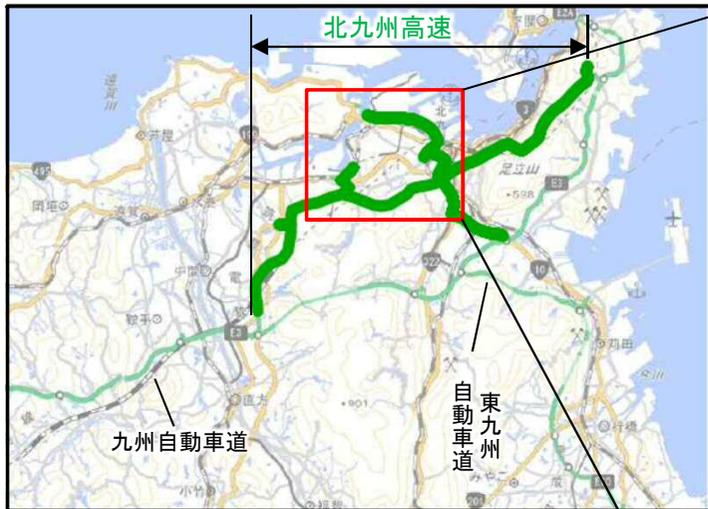
1 高速道路ネットワークの強化

(2) 北九州高速5号線延伸(戸畑枝光線)

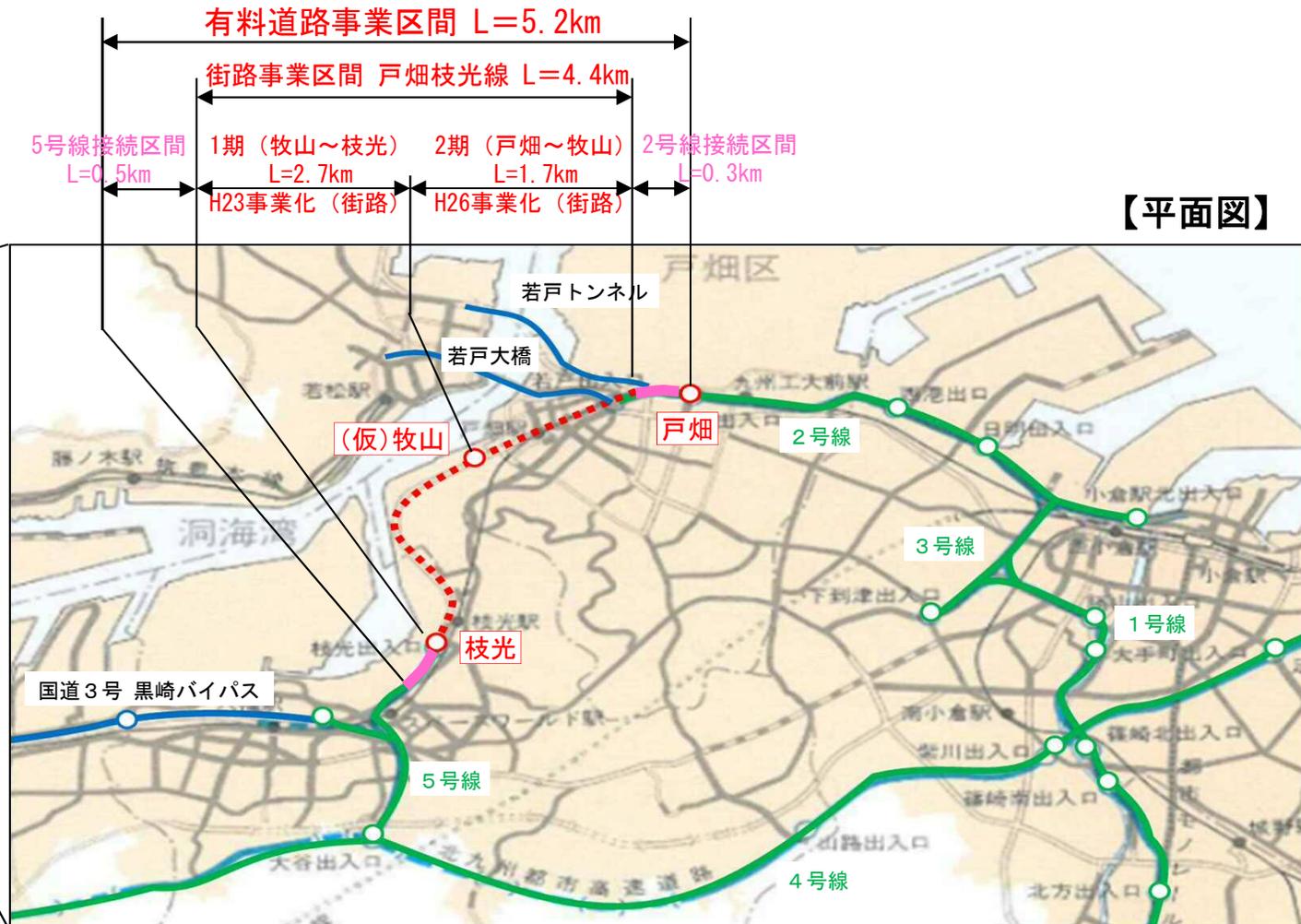
① 目的

環状放射型の自動車専用道路ネットワークを構築し、円滑な物流・人流の支援及び災害に強い強靱なネットワークの形成を図ります。

【位置図】



【平面図】



(2) 北九州高速5号線延伸(戸畑枝光線)

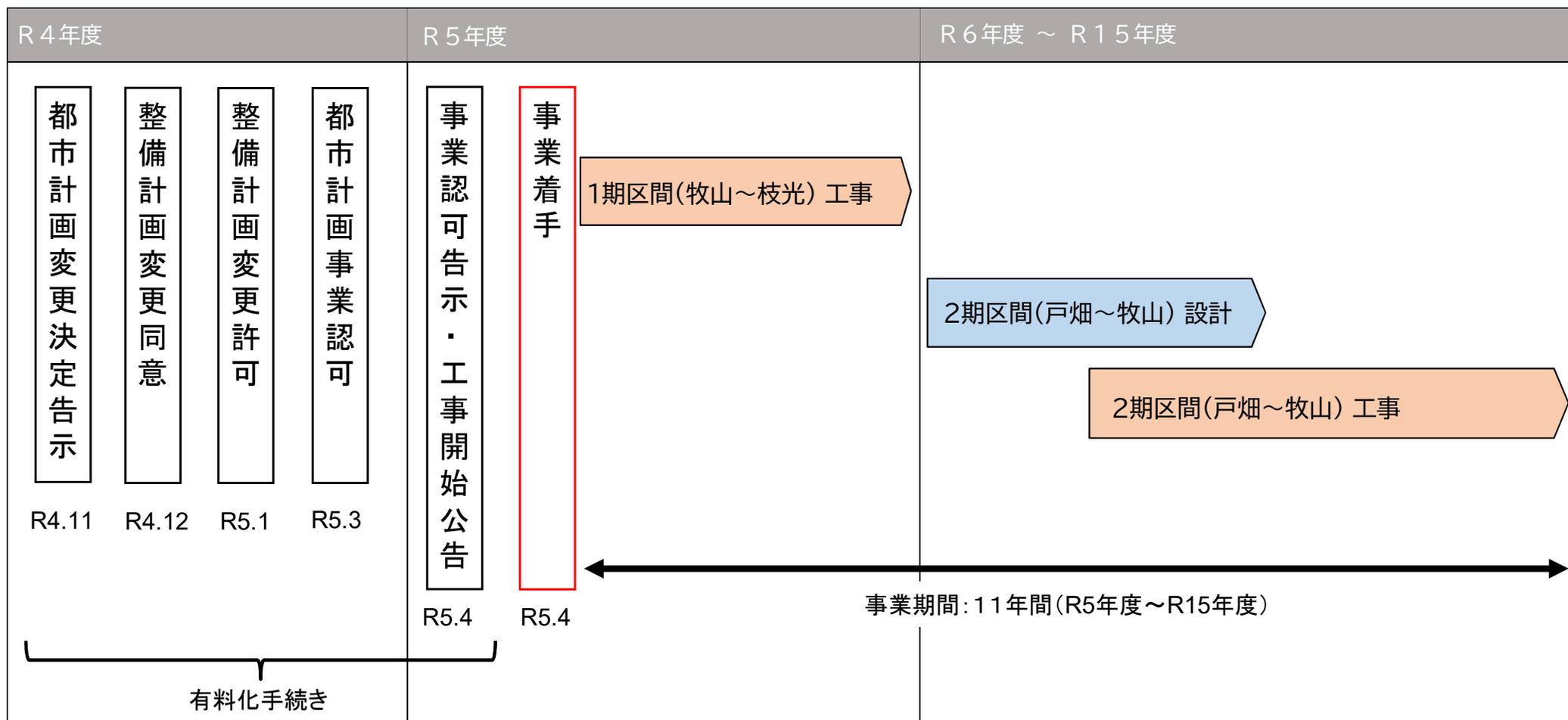
② 概要図



(2) 北九州高速5号線延伸(戸畑枝光線)

③ スケジュール

都市計画道路戸畑枝光線については、これまで北九州市が街路事業にて整備を進めてきましたが、令和5年度から北九州市の街路事業と福岡北九州高速道路公社の有料道路事業の合併施行方式で整備を進めます。引き続き北九州市と連携し、まずは1期区間(牧山～枝光)の早期完成を目指します。



(1) 維持管理の取組方針

老朽化が進む都市高速道路の機能と健全性を確保するため、メンテナンスサイクルを実施し適切な維持管理に努めるとともに、新たなシステムの導入・活用による点検・管理の効率化や、周辺環境に配慮した取組を行っていきます。

① メンテナンスサイクルの実施

5年に1回の頻度にて、
全数近接目視点検の実施



【点検】

【診断】



道路橋定期点検要領(H26国土交通省策定)を基に統一的な尺度にて、健全性の診断を実施

メンテナンスサイクルの取組を
情報基盤データベース等へ記録



【記録】

【措置】



点検・診断結果を基に、計画的な補修の実施

② 維持管理の効率化(DX)・環境への配慮

3D点群データ
(任意断面図)

寸法計測

終点

始点

【新システム】

GISデータ

図書

現況

地形

点検

(BIM/CIM) データ連携

360°映像

航空レーザー点群データ

樹木

地盤面

維持管理支援システムの導入
(地図情報と3D点群データ等の統合による点検・管理の効率化)

IH加熱器

加熱パネル

アスファルト
舗装

鋼床版

加熱により舗装の定着部が軟化

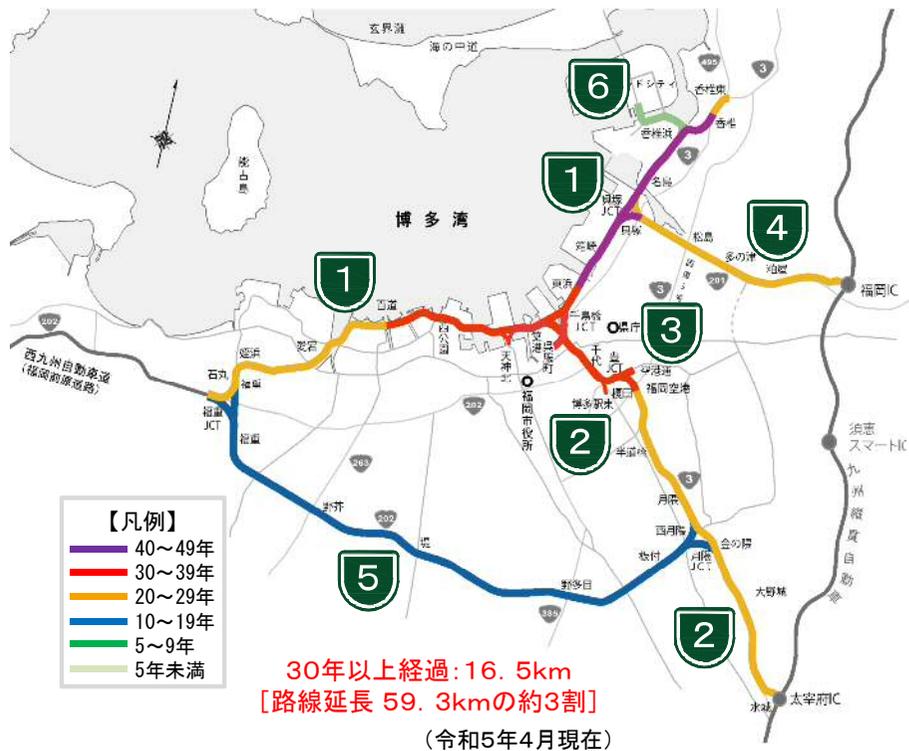
IH式舗装撤去工法
(舗装撤去前に加熱することで騒音・振動・粉塵を抑制)

(2) 福岡高速の老朽化・予防保全対策

路線延長の約3割が供用から30年以上経過したことや、交通量の増加に伴い、橋梁などの老朽化が進んでいます。このため、平成24年度から老朽化・予防保全事業に着手しています。令和4年度までに1号線の香椎～千鳥橋JCTの工事が概ね完了しました。

老朽化・予防保全事業

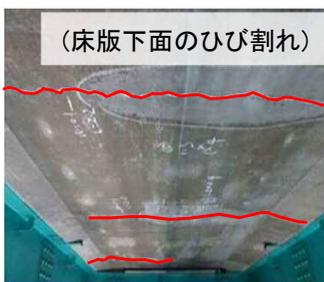
- ・対象路線：福岡高速1～5号線
- ・事業期間：平成24～令和13年度の20年間
- ・対策内容：床版防水、床版補強（炭素繊維シート貼付）
鋼製桁等の塗装塗替え、
コンクリート橋脚表面保護 等



老朽化対策の状況

(香椎～千鳥橋JCT)

■床版補強



1号線の香椎から千鳥橋JCTは、建設時の床版厚が薄いため、床版下面に炭素繊維シート貼り付けによる床版補強と長寿命化対策を実施(H24～R4)

■コンクリート橋脚表面保護



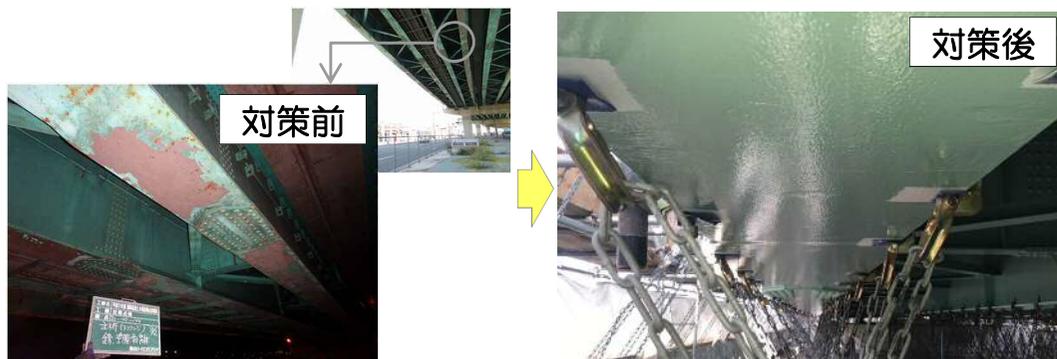
損傷したコンクリートを補修し、塗装で保護

(2) 福岡高速の老朽化・予防保全対策

引き続き、2号線及び4号線の鋼製桁の塗装塗替などの橋梁補修や主要交差点における恒久足場の設置を推進していくとともに、令和5年度からは、交通量が多くこれまで床版防水対策が未実施であった、2号線の千鳥橋JCT～榎田の舗装改良にも順次取り組んでいきます。

老朽化対策の状況

■鋼製桁の塗装塗替



■舗装改良工事(床版防水対策)



■恒久足場の設置

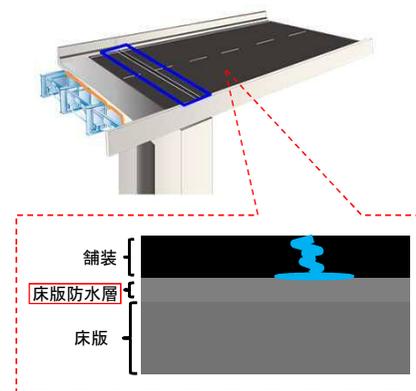
(榎田～半道橋)



耐久性の高い足場による点検・補修の効率化



(施工例) 防水性・耐久性の高い床版防水対策



床版防水層で水の侵入を防止し床版を健全な状態に保つ

(3) 北九州高速の老朽化対策

1～3号線の路線延長の約9割が供用から30年以上経過し、橋梁等の老朽化が進んでいるため、令和4年度から大規模修繕事業に着手しました。

供用年次の古い3号線(東港JCT～愛宕JCT)から順次工事を進めています。

大規模修繕事業

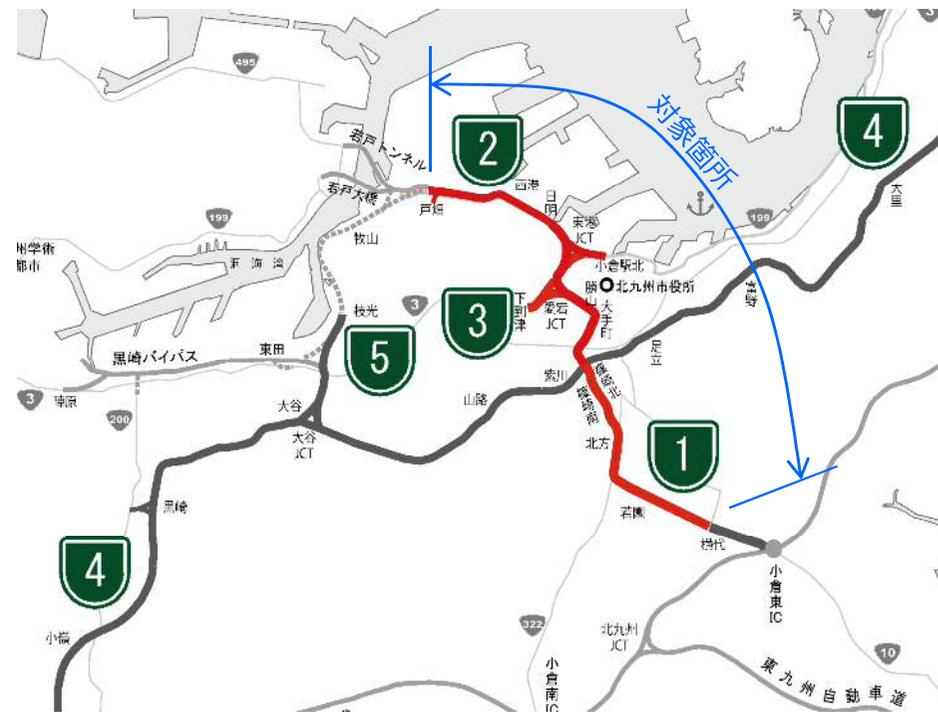
- ・対象路線: 北九州高速1～3号線
- ・事業期間: 令和4～13年度の10年間
- ・対策内容: 床版補修、床版防水、
床版補強(炭素繊維シート貼付)、
鋼製桁等の塗装塗替え、
コンクリート橋脚表面保護 等

老朽化対策の状況

【床版補修、床版防水の施工】(東港～愛宕)



【鋼製桁の塗装塗替え】



(4) 北九州高速の耐震補強事業

大規模地震発生時の救急救命・復旧活動を支えるため、令和5年度より、兵庫県南部地震と同程度の地震でも速やかな機能回復が可能な水準の耐震補強事業に着手します。

大規模修繕事業の実施と合わせて3号線の整備を行うとともに、4号線についても順次対策を進めていきます。

耐震補強事業

- ・対象路線: 北九州高速1～4号線
- ・事業期間: 令和5～21年度の17年間
- ・対策内容: 支承の取替、縁端拡幅、連結ケーブル設置 等
(大規模地震に対し、路面の大きな段差やずれを防止)



耐震補強のイメージ

【支承の取替】



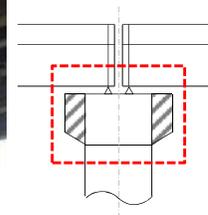
取替後

変位制限等を備えた地震力に強い支承

【縁端拡幅】



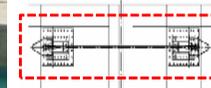
橋脚の桁かかり部分を拡幅



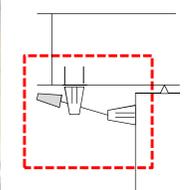
【連結ケーブル設置】



≪桁-桁≫



≪桁-橋脚≫



桁同士や、桁と橋脚を互いに連結

※これまでの対策で、兵庫県南部地震と同程度の地震に対して、落橋・倒壊しない一定レベルの耐震性能を確保しています

大規模な災害発生時に、復旧対応を迅速化するため、関係機関と協定を締結しています。平成30年7月豪雨を踏まえて、令和元年度に九地整及び民間三団体と協定を締結し、災害対応力を強化しました。令和4年度には通信事業者との協定を新たに締結したことで、通信インフラや道路の光ケーブルが被災した場合でも、迅速な復旧に向けた協力体制が整いました。

災害時に備えた協定

大規模な災害時の相互応援に関する協定（九地整）

目的：資機材及び職員の相互応援 【令和元年7月5日締結】
○国土交通省九州地方整備局

震災時等における応急復旧業務の相互協力に関する協定（都市高速5団体）

目的：災害時の人材・資機材の相互協力 【平成24年3月7日締結】
○首都高速道路株式会社 ○阪神高速道路株式会社
○名古屋高速道路公社 ○広島高速道路公社 ○福岡北九州高速道路公社

災害時における応急対策に関する協定（民間8団体）

目的：災害時の都市高速の復旧に資する協定 【令和元年6月19日締結】
【平成18年3月1日締結】
○建設コンサルタンツ協会(測量設計)
○福岡県地質調査業協会(地質調査)
○福岡県建設業協会(土木一般)
○日本建設業連合会(土木一般)
○日本橋梁建設協会(鋼構造物)
○PC建設業協会(PC構造物)
○日本道路建設業協会(舗装等)
【令和4年11月1日締結】
○KDDI株式会社(通信)



<段差走破訓練状況>

道路啓開訓練の実施

令和2年度より、更なる早期開放を目的として、緊急車両等が通行可能となる段差解消資機材を用いた道路啓開訓練を年に一度実施しています。

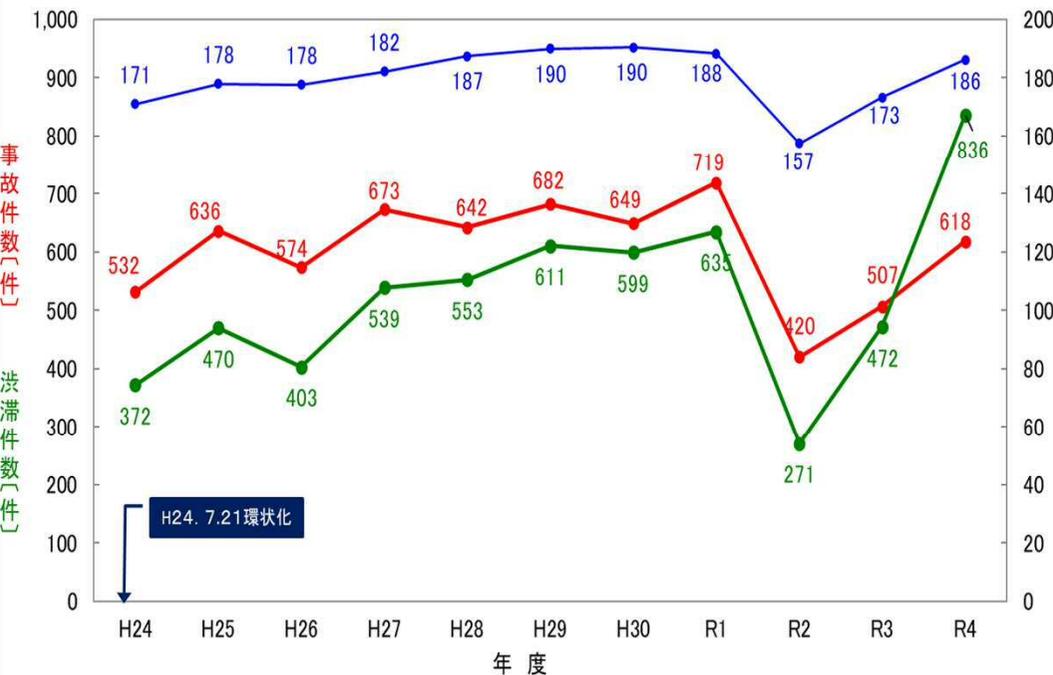
(1) 事故と渋滞の推移

事故・渋滞の件数は、両高速ともコロナ禍の影響等で一時的に減少したものの、令和3年度以降は交通量の回復に伴い増加しています。

【事故・渋滞件数】

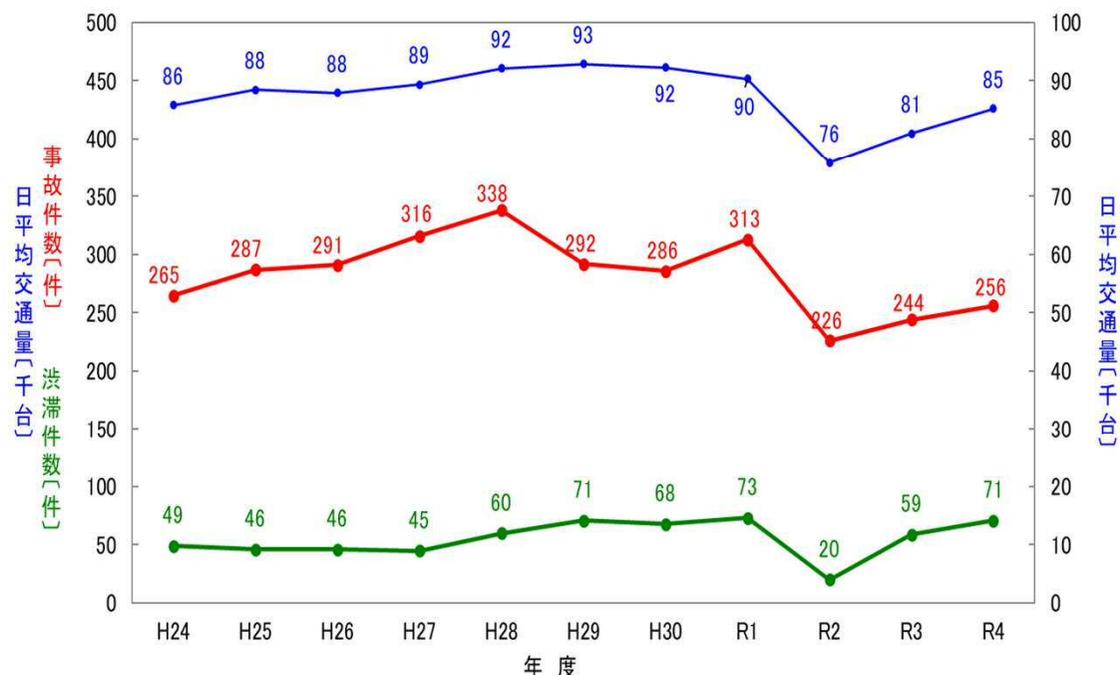
■福岡高速

● 事故件数 ● 渋滞件数 ● 日平均交通量



■北九州高速

● 事故件数 ● 渋滞件数 ● 日平均交通量

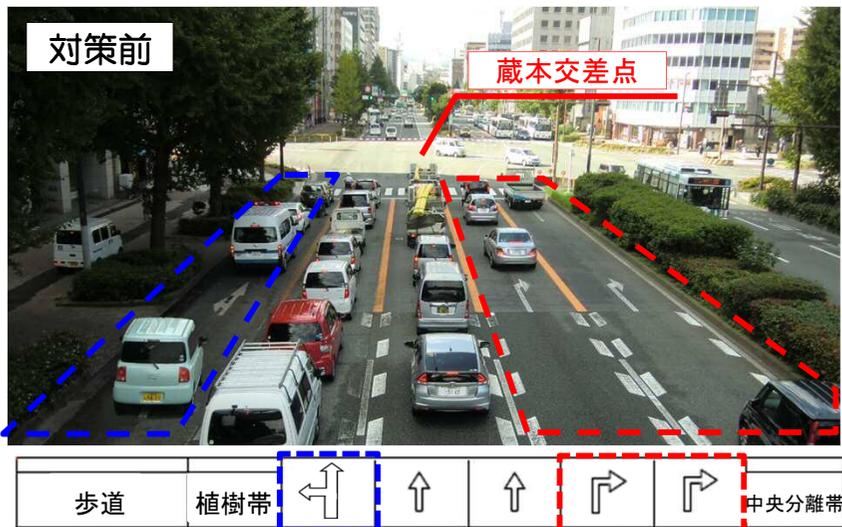


※1) 渋滞：走行速度20km/h以下で車列長0.5km以上の状態が30分以上継続した場合（事故に伴う渋滞を含む）

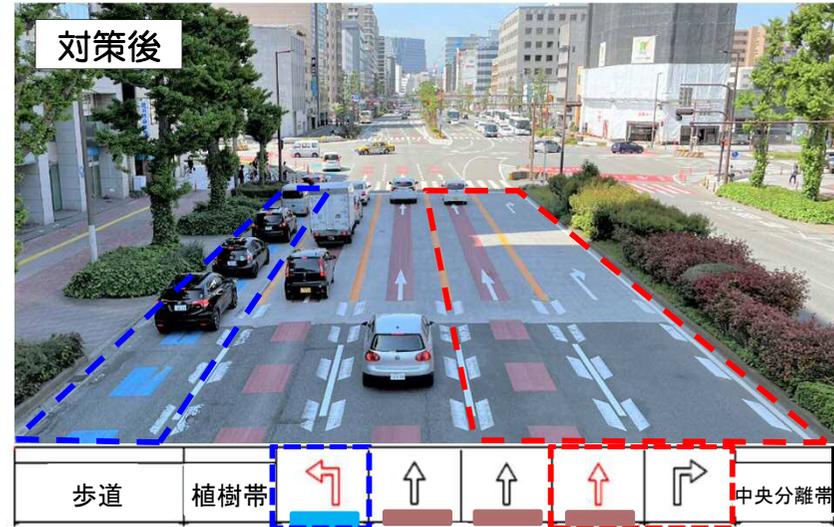
(2) 事故・渋滞対策の主な取組

① 渋滞対策

呉服町出口については、出口前方の蔵本交差点での先詰まりが渋滞の要因となっていました。同交差点を管理する福岡市と連携して、交差点の車線運用を見直すことで呉服町出口の渋滞が改善されました。



直左×1、直進×2、右折×2



左折×1、直進×3、右折×1



令和3年11月
平日夕方ピーク時
(16:00~17:00)
呉服町出口通過台数
435台/時間 ※1



令和5年4月
平日夕方ピーク時
(16:00~17:00)
呉服町出口通過台数
477台/時間 ※1

※1 呉服町出口トラカン値(平日5日間平均)

渋滞対策により呉服町出口の通過台数が増加し、本線まで伸びていた渋滞長が減少している状況。

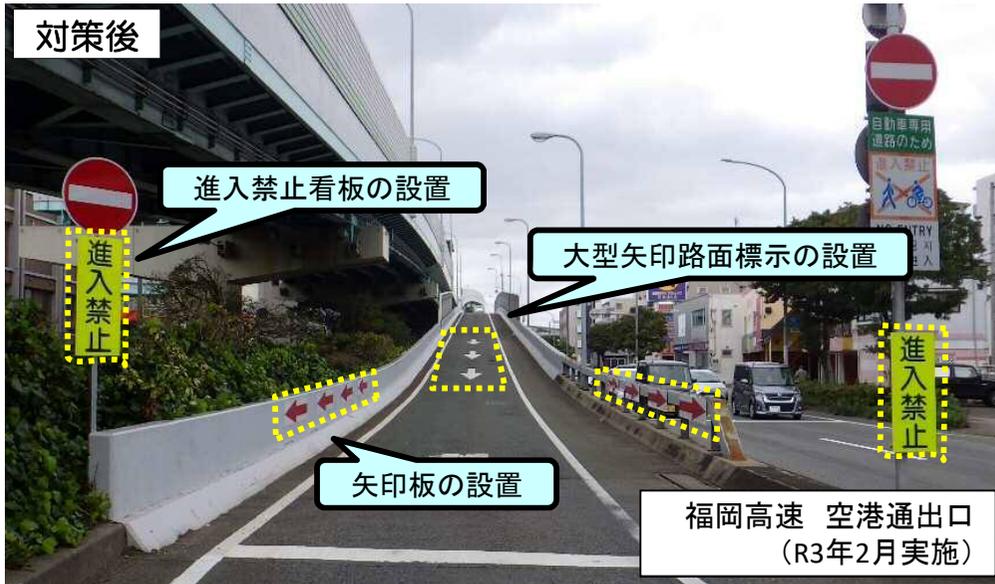
(2) 事故・渋滞対策の主な取組

② 逆走対策

令和2年3月に北九州高速で発生した逆走による死亡事故を受けて、両高速の全出口での逆走対策を実施し、令和2年度に完了しました。令和3年度より合流部及びJCT部の逆走対策を進めています。また、公社HPで発生事例、対策事例の紹介、ラジオCM等による注意喚起を行っています。

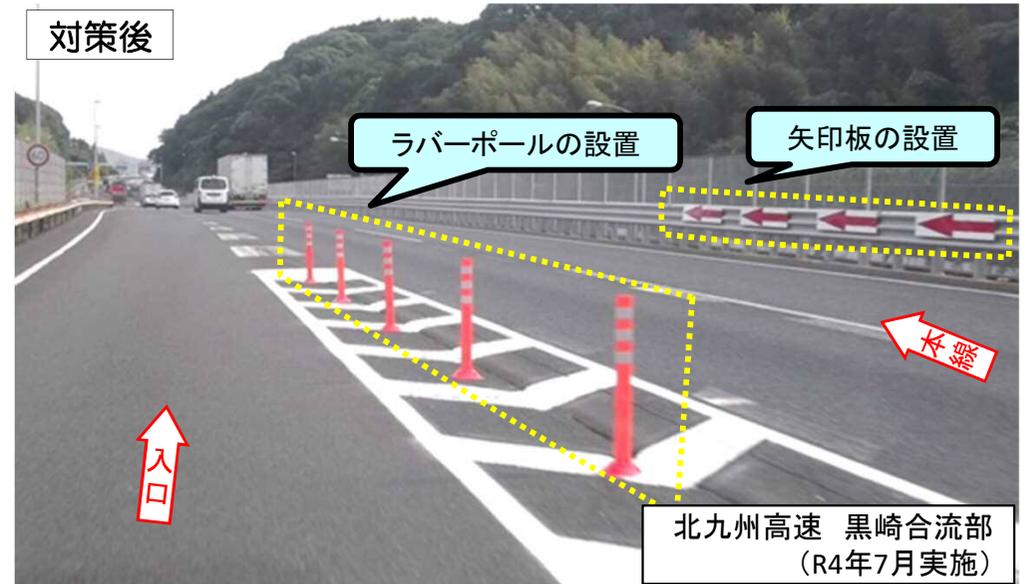
出口対策

- ・福岡38箇所
- ・北九州35箇所



合流部対策

- ・福岡42箇所
- ・北九州38箇所

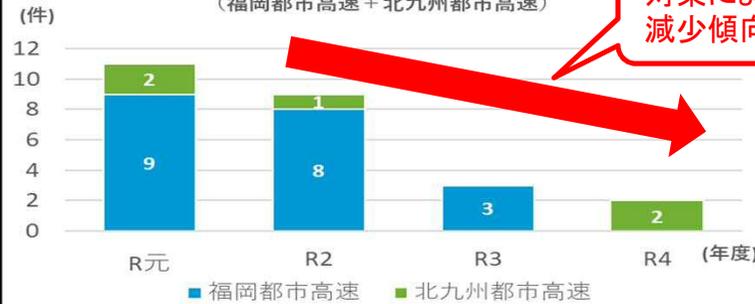


逆走発生件数 (福岡都市高速+北九州都市高速)

- 令和元年度 11件
- 令和2年度 9件
- 令和3年度 3件
- 令和4年度 2件

逆走発生件数

(福岡都市高速 + 北九州都市高速)



対策により、逆走発生件数は減少傾向にある。

(1) お客様への案内

お客様に都市高速をより便利にご利用いただくため、ホームページによる案内のほか、リアルタイムの道路状況の情報提供や道路案内等、利便性を高める取り組みを行っています。

○LINE

- **工事による規制**や**イベント情報**など、都市高速ご利用のお客様に役立つ情報を提供しています。
- LINEのメニューを利用すると、簡単に**弊社ホームページにアクセス**できます。



夜間通行止めのお知らせを受信

道路交通情報や料金案内を確認



○ラジオCM

工事による規制や通行時の注意点など、都市高速の通行に必要な情報をラジオCMにより提供しています。

○イラスト地図「スイスイマップ」

都市高速における乗り降りの間違い、またジャンクション部の方向間違いなどを減らし、より便利で身近な道路として活用していただくため、イラスト地図「スイスイマップ」を作成し、都市高速の関係施設の他、集客施設等に常設しています。



[主な設置箇所]

- ・都市高速の全ての料金所
- ・都市高速周辺の大型商業施設
- ・レンタカー会社
- ・NEXCOのサービスエリア及びパーキングエリア
- ・主要観光施設及び観光案内所
- ・関係庁舎
- ・自動車学校
- ・道の駅 など

○ハイウェイテレホン

- **通行止**や**渋滞**、**平均所要時間**などの道路状況を音声及び文字にてご案内いたします。
- 道路情報は**約5分ごと**に更新されます。

聞く！ 音声にてご案内しています。

福岡高速ハイウェイテレホン(自動音声) ☎ 092-643-1300
 北九州高速ハイウェイテレホン(自動音声) ☎ 093-931-1400

見る！ 文字にてご案内しています。

パソコンやスマートフォンからアクセスできます。

(2) お客様との対話

お客様から直接ご意見・ご要望をお聞きする取り組みを行い、各施策の改善などに活かしております。

○ ご意見をお聞きする取り組み

- お客様からの問い合わせ
電話に加え、ホームページのお問い合わせコーナーでもお客様からご意見をお受けしています。
- 道路モニター制度
一般公募した、50名／年のモニターに、アンケート調査を実施しています。
- お客様満足度(CS)調査
2～3年おきに、調査会社による大規模アンケート調査を実施しています。

○ お客様のご意見を参考にした改善事例

- 【ご意見】 福岡高速の福重JCTにおける分岐がわかりにくい。
- 【対応】 標識内の行先表示を路面・矢印と同色にし、西九州道方面を示す赤矢印を「この先左旋回」を意識した形状に変更しました。

